

- 問1 鎌倉時代には、中国（宋）から新しい仏教の宗派が伝えられました。そのうち、座禅を修行の基本とする禅宗について、開祖とその宗派の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------|--------------------------|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 最澄が天台宗を伝え、空海が真言宗を開いた。 | 2. 栄西が曹洞宗を伝え、道元が臨済宗を開いた。 | 3. 聖武天皇が国分寺を建立し、仏教による国家の安定を図った。 | 4. 栄西が臨済宗を伝え、道元が曹洞宗を開いた。 |
|--------------------------|--------------------------|---------------------------------|--------------------------|
- 問2 鎌倉時代の武士の生活を描いた「男衾三郎絵詞」などの資料には、武士が館の周辺で田畑を耕作させ、弓馬などの武芸の訓練に日常的に励む姿が記されています。こうした武士たちを国ごとに統括し、治安維持や軍事的な任務にあたらせるために源頼朝が設置した役職とその役割の組み合わせとして、正しいものを選んでください。（2026年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 侍所が、御家人たちの日常的な農業経営を直接指導した。 | 2. 守護が、国ごとに置かれて軍事・警察の職務を執り行った。 | 3. 六波羅探題が、承久の乱の後に京都の警備や朝廷の監視を行った。 | 4. 地頭が、国ごとに置かれて年貢の取り立てや土地の管理を行った。 |
|-------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
- 問3 1297年に出された「永仁の徳政令」が発令された歴史的な背景について、最も適切な説明はどれですか。（2018年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 元寇で多大な軍費を負担した御家人に対し、防衛戦であったために十分な恩賞が与えられず、生活が困窮したため。 | 2. 大規模な飢饉が発生し、幕府が米の価格を安定させるために商人の独占を禁じ、流通を制限したため。 | 3. 江戸幕府が旗本や御家人の困窮を救うために、札差（金融業者）に対して借金の破棄を命じたため。 | 4. 室町幕府の権威が低下し、各地で農民が団結して年貢の免除や借金の帳消しを求める土一揆が頻発したため。 |
|---|---|--|--|
- 問4 源頼朝が征夷大将軍となり、鎌倉幕府を成立させるまでの過程で行ったこととして、歴史的な事実に基づいた正しい記述はどれですか。（2017年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 平氏を滅ぼした後、義経をかくまった奥州藤原氏を討ち、全国的な支配権を確立した。 | 2. 坂上田村麻呂が築いた胆沢城を拠点にして、東北地方の蝦夷の勢力を武力で制圧した。 | 3. 律令国家の制度を強化するため、国ごとに国司を派遣して土地と人民を直接管理した。 | 4. 平安時代中期に関東で反乱を起こした平将門を討伐し、その功績によって朝廷から官位を授かった。 |
|--|--|--|--|
- 問5 鎌倉幕府が設置した地方官職のうち、「守護」と「地頭」の違いを説明した文として正しいものはどれですか。（2022年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 守護は荘園ごとに置かれて年貢を徴収し、地頭は国ごとに置かれて軍事を担当した | 2. 守護は源頼朝が任命し、地頭は後鳥羽上皇が自身の身辺警護のために設置した | 3. 守護は国ごとに置かれて軍事や警察を担い、地頭は荘園ごとに置かれて年貢の徴収などを行った | 4. 守護は東日本のみ配置され、地頭は西日本の朝廷支配地を監視するために配置された |
|--|--|--|---|
- 問6 鎌倉時代に東大寺の南大門に安置された、筋肉の動きを写実的に捉えた力強い表現が特徴の仏像の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。なお、この像は運慶や快慶らによって制作されたことで知られています。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|----------|----------|
| 1. 阿弥陀如来像 | 2. 釈迦如来像 | 3. 弥勒菩薩像 | 4. 金剛力士像 |
|-----------|----------|----------|----------|
- 問7 鎌倉時代には、社会の不安を背景に「鎌倉新仏教」と呼ばれる新しい仏教が次々と生まれました。その中の一つで、鎌倉幕府が置かれた政治の中心地である鎌倉で熱心な布教活動を行い、武士や民衆の間に信仰を広めていった宗派として正しいものはどれですか。（2023年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-------------|--------|--------|
| 1. 真言宗 | 2. 日蓮宗（法華宗） | 3. 浄土宗 | 4. 臨済宗 |
|--------|-------------|--------|--------|
- 問8 比叡山延暦寺は多くの名僧を輩出した修行の場として知られていますが、この地で学んだ後に独自の教えを確立した僧侶のうち、「題目」を唱える修行を重視し、幕府に対しても厳しい批判や提言を行った人物とその主張の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 道元 — ひたすら座禅を組むことで悟りを開こうとした | 2. 法然 — 念仏を唱えれば誰でも極楽浄土へ行けると説いた | 3. 日蓮 — 国家の安泰と人々の救済を法華経の信仰に求めた | 4. 親鸞 — 自分の罪を自覚した悪人こそが救われると説いた |
|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
- 問9 元寇において、鎌倉幕府が戦功を挙げた御家人たちに十分な恩賞を与えることができなかった主な理由として正しいものはどれですか。（2026年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 幕府が幕府独自の裁判基準である御成敗式目を制定したことで、御家人への恩賞給与が禁じられたため。 | 2. 北条氏が全国の守護職をすべて辞任し、地方の御家人を統制する組織が崩壊してしまったため。 | 3. 防衛戦であったため勝利しても新たな領地を獲得できず、御家人に配る土地が不足していたため。 | 4. 御家人の困窮を救うために出された徳政令により、すべての領地が旧領主に返還されてしまったため。 |
|--|--|---|---|
- 問10 承久の乱が起こった背景と、その結果が鎌倉幕府の支配体制に与えた影響の説明として最も適切なものはどれか。（2023年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 海外からの侵略に対応できない幕府に不満を持った朝廷が挙兵したが、失敗したことで幕府は外国との交易を中断した。 | 2. 幕府の武士に対する支配力を弱めたい朝廷が挙兵したが、敗北したことで幕府の支配が西日本まで及ぶようになった。 | 3. 幕府内の北条氏の独裁に反対する御家人が挙兵したが、敗北したことで北条氏による執権政治が終わりを迎えた。 | 4. 幕府の命を受けた有力御家人が朝廷を攻撃し、敗北したことで幕府の権威が失われて朝廷の支配が復活した。 |
|---|--|--|--|
- 問11 鎌倉幕府が設置した「六波羅探題」という役職について、その設置の目的と歴史的な背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---------------------------------------|
| 1. 室町幕府が將軍の補佐役として、京都の政治や裁判を統括するために設置された。 | 2. 元寇の際、九州地方の沿岸警備や、現地の御家人の指揮を執るために設置された。 | 3. 承久の乱の後、朝廷を監視し、あわせて西国の統治や裁判を行うために設置された。 | 4. 江戸幕府が朝廷や西国大名を監視し、京都の治安を守るために設置された。 |
|--|--|---|---------------------------------------|
- 問12 鎌倉幕府における將軍と御家人の主従関係の仕組みについて、その特徴を説明した文として正しいものはどれですか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 寺院や神社に寄進された土地の管理を、將軍が御家人に委託することで成り立つ関係であった。 | 2. 土地の支配権の保証と引き換えに、命がけで戦う軍役などの義務を果たす関係であった。 | 3. 將軍が御家人に毎月一定の貨幣を支給し、御家人が役所での事務作業に従事する関係であった。 | 4. 血縁関係にある一族のみが將軍に従い、他の武士はすべて農民として扱われる関係であった。 |
|--|---|--|---|
- 問13 鎌倉時代において、幕府が中国（宋）から僧を招くなどして奨励した禅宗が、当時の有力な武士たちに受け入れられた理由として最も適切な説明を選びなさい。（2026年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 座禅による厳しい精神修養が、自己を律し生死に向き合う武士の生き方に適していたため。 | 2. 法華経の教えを広めることで、蒙古襲来などの国難を退けることができると考えたため。 | 3. 一向一揆などの強力な組織力を持つことで、幕府の軍勢力を補強しようとしたため。 | 4. 念仏を唱えるだけで救われるという平易な教えが、忙しい武士の生活に合っていたため。 |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 栄西が臨済宗を伝え、道元が曹洞宗を開いた。	鎌倉時代に宋から伝わった禅宗には、大きく分けて二つの流れがあります。栄西は臨済宗を伝え、幕府の保護を受けて武士の間に広まりました。一方、道元は曹洞宗を伝え、越前（福井県）に永平寺を建立して、ひたすら座禅に打ち込む修行を重んじました。最澄や空海は平安時代初期の僧であり、国分寺の建立は奈良時代の出来事です。
問2	答え 2 守護が、国ごとに置かれて軍事・警察の職務を執り行った。	源頼朝は、各地で自立的な生活を送る武士（御家人）を統制し、国家の治安を維持するため、各国に守護を配置しました。守護の主な任務は「大犯三箇条（だいぼんさんかじょう）」と呼ばれる軍事・警察的な権限であり、これによって幕府は全国的な軍事警察権を握ることになりました。一方で、土地の管理や年貢の徴収を主な職務としたのは、荘園などに置かれた地頭です。
問3	答え 1 元寇で多大な軍費を負担した御家人に対し、防衛戦であったために十分な恩賞が与えられず、生活が困窮したため。	元寇（蒙古襲来）において御家人は自費で戦いましたが、侵略を防ぐための戦いであったため、幕府が没収して恩賞として分け与える土地が不足していました。恩賞を得られないまま借金に苦しむ御家人が続出したため、幕府は彼らの没落を防ぎ、軍役を維持させる目的でこの法令を出しました。
問4	答え 1 平氏を滅ぼした後、義経をかくまった奥州藤原氏を討ち、全国的な支配権を確立した。	源頼朝は、弟の義経を追放した際に彼をかくまった奥州藤原氏を1189年に滅ぼしました。これにより、平氏追討に続く軍事行動を完了させ、名実ともに武士の頂点としての地位を固めました。平将門の乱は頼朝以前の10世紀の出来事であり、坂上田村麻呂の活動は平安時代初期のことです。また、頼朝が国ごとに配置したのは国司ではなく、武士による統治を担う守護でした。
問5	答え 3 守護は国ごとに置かれて軍事や警察を担い、地頭は荘園ごとに置かれて年貢の徴収などを行った	守護と地頭は配置される単位と役割が異なります。守護は「国」ごとに1人置かれ、主に国内の武士を統率して軍事や警察（大犯三箇条など）を担いました。対して地頭は、より細かな単位である「荘園」や「公領」ごとに置かれ、土地の管理や年貢の徴収という実務的な支配を行いました。
問6	答え 4 金剛力士像	鎌倉時代は武士が台頭した時代であり、その力強さを反映した写実的な文化が栄えました。東大寺南大門にあるこの像は、運慶や快慶を中心とする仏師集団「慶派」によって制作され、当時の躍動感あふれる作風を象徴しています。選択肢にある阿弥陀如来像は、平安時代に流行した極楽浄土への信仰に基づいた、穏やかな表情の像として対比されることが多いものです。
問7	答え 2 日蓮宗（法華宗）	日蓮によって開かれた日蓮宗（法華宗）は、幕府の所在地である鎌倉で「法華經」の題目を唱えることを説き、他宗を厳しく批判しながら布教を行いました。当時の鎌倉は、三方を山に囲まれ一方が海に面した要害の地であり、政治の中心地として多くの武士や民衆が集まっていたため、新しい信仰が広まる基盤がありました。
問8	答え 3 日蓮 ― 国家の安泰と人々の救済を法華經の信仰に求めた	日蓮は比叡山などで諸宗を学んだ後、法華經こそが釈迦の真意であるとの結論に達しました。他の鎌倉新仏教の開祖たちの多くが個人の救済を主眼に置いたのに対し、日蓮は社会や国家全体の救済を重視し、他宗を厳しく批判しながら布教活動を行ったため、幕府から弾圧を受けるなど波乱の生涯を送りました。
問9	答え 3 防衛戦であったため勝利しても新たな領地を獲得できず、御家人に配る土地が不足していたため。	元寇は異国からの侵攻を防ぐ防衛戦であったため、勝利しても相手の土地を奪って新たな領地を得ることができませんでした。そのため、幕府は自己の費用負担で戦った御家人に対して与える恩賞（土地）が不足し、十分な支給ができませんでした。
問10	答え 2 幕府の武士に対する支配力を弱めたい朝廷が挙兵したが、敗北したことで幕府の支配が西日本まで及ぶようになった。	幕府の勢力を抑えようと後鳥羽上皇が挙兵しましたが、幕府軍に敗北しました。この結果、幕府は上皇側の領地を没収して味方の御家に与え、西日本への支配力を一気に強めることになりました。
問11	答え 3 承久の乱の後、朝廷を監視し、あわせて西国の統治や裁判を行うために設置された。	六波羅探題は、1221年の承久の乱の翌年に設置された役職です。北条泰時・時房が初代の探題に就任して以降、北条氏の有力者が任命される重要なポストとなりました。その役割は、乱の首謀者であった朝廷（上皇）の動きを監視するだけでなく、それまで幕府の支配が弱かった西国（西日本）の統治や御家人の裁判を行うことにありました。元寇に備えて九州に置かれたのは鎮西探題、室町幕府で将軍を補佐したのは管領、江戸幕府が京都に置いたのは京都所司代であり、それぞれの時代や目的が異なります。
問12	答え 2 土地の支配権の保証と引き換えに、命がけで戦う軍役などの義務を果たす関係であった。	鎌倉時代の主従関係は、土地を通じたギブ・アンド・テイクの関係です。将軍が御家人の土地支配を保証する「御恩」に対し、御家人は「いざ鎌倉」という言葉に象徴されるように、有事の際の軍役や、京都・鎌倉の警備（番役）といった「奉公」で応えました。このような土地を媒介とした主従関係を封建制度の特徴として捉えることができます。
問13	答え 1 座禅による厳しい精神修養が、自己を律し生死に向き合う武士の生き方に適していたため。	禅宗は座禅によって自分の力（自力）で悟りを開くことを説きます。この自分自身を厳しく律する修行のあり方が、戦場での精神的な強さを求めている武士階級の道徳観や価値観と深く結びつきました。鎌倉幕府の執権である北条時頼や北条時宗は、中国から蘭溪道隆や無学祖元といった高僧を招き、建長寺や円覚寺を建立して禅宗の普及を後押ししました。